

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

コンソーシアム等の名称：ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム

エコシステム形成推進主体について

1. エコシステム形成の目標・KPI

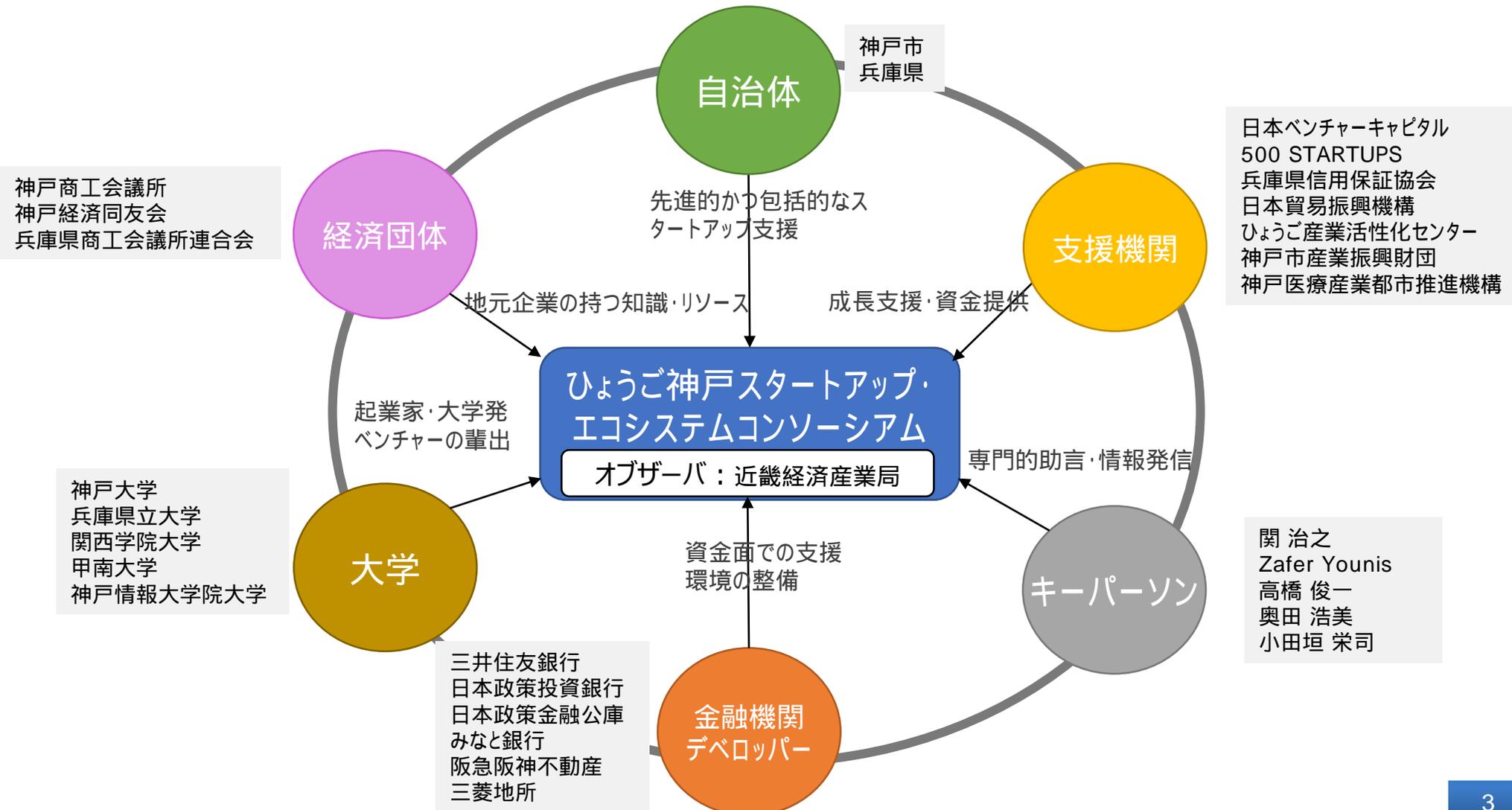
兵庫・神戸地域内から新たなビジネスを生み出しやすい環境を整えることで裾野を拡大するとともに、大学発スタートアップや海外起業家の取り込みを積極的に行うことで多様性のあるエコシステムを形成。2024年までに地域のスタートアップを牽引するユニコーンの創出を目指す。

項目	目標 (2020年～2024年)		現状
域内スタートアップ [°] 設立数	<u>76</u>	← 倍増	2015～2019年 38
域内大学発ベンチャー [°] 設立数	<u>18</u> 年度平均：3.6	← 倍増 (年平均)	2015～2018年度 7 年平均：1.8
域内スタートアップ [°] VISA認定件数	<u>15</u> 現場見込3×5年	← 環境整備	2019年4月～制度開始
域内ユニコーン(時価総額1,000億円以上) 設立数	<u>1</u>	← 創出	・ユニコーン設立数 0 ・域内NEXTユニコーン設立数 2010～2019年 1
域内NEXTユニコーン(時価総額100億円以上) 設立数	<u>2</u>	← 創出	・域内調達総額10億円 以上スタートアップ設立数 2010～2019年 2

エコシステム形成推進主体について

2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムを通じて構成員のリソースを集結し、世界に対抗できるエコシステム形成のための全方位的な取り組みを実施



3. エコシステムの顔となるリーダー



山本 敏行

Chatwork創業者

中央大学商学部在学中の2000年、留学先のロサンゼルスでEC studio（2012年にChatWork株式会社に社名変更）を創業。「自分がいなくてもうまくいく仕組み」、「日本でいちばん社員満足度が高い会社の非常識な働き方」を出版し、いずれもアマゾン売上総合ランキング1位を獲得。2012年に米国法人をシリコンバレーに設立し、自身も移住し5年間経営した後に帰国。2018年Chatwork株式会社のCEOを共同創業者の弟に譲り、翌2019年東証マザーズへ550億円超の時価総額で上場。同年新サービス「My CSO」をスタートさせ、ビジネスYouTubeチャンネル「戦略チャンネル」でこれまでの経験、ノウハウを配信している。



小田垣 栄司

株式会社ノヴィータ
代表取締役会長

2006年に設立した株式会社ノヴィータを始めとしてITを活用した事業を複数展開。当事者の問題意識を一緒になって解決することで持続性の高い、成功確度の高い事業が出来ると考えている。ネット広告黎明期より大手広告代理店と協働。採用、教育を自社内・外で行う。多様な環境で多様なスキルを持つ人材を確保することが得意。田園調布にフランス焼き菓子の会社を持つなどジャンルを問わず活動。大学・高校生と連携した起業家、IT人材育成やワーキングマザー向けキャリア開発支援を実施。2018年より兵庫県・豊岡市へのIT事業者の集積を推進するITカリスマに認定。



坂井 貴行

神戸大学 産官学連携本部
副本部長・教授

1993年、三菱自動車工業株式会社に入社。立命館大学、コーネル大学、徳島大学を経て、神戸大学教授に就任。株式会社神戸大学イノベーション代表取締役社長も務める。博士（学術）。この間、関西TLO株式会社（現：TLO京都）取締役、株式会社テクノネットワーク四国代表取締役社長として、TLOの経営に従事。企業ニーズ寄りのTLO運営方式ともいえる「大学共同経営型TLOモデル」を構築。産学連携実務者としても、2700件以上の大学の発明を発掘、147件の特許を企業へライセンス、18件を製品として上市させた実績を持つ。



多名部 重則

神戸市 広報官(元新産業課長)

2015年に神戸市のスタートアップ育成・集積事業を立ち上げ。同年に久元喜造市長とともにサンフランシスコを訪問したことを契機に、世界的に著名なシード投資ファンド「500 Startups」とパートナーシップを締結。同社と起業家育成プログラムを2016年から実施。2017年には国内で初となるスタートアップと行政が共同開発を進めるプロジェクト「Urban Innovation KOBE」を開始。2019年11月にはUNOPS Global Innovation Centerを神戸市に誘致。2020年4月より神戸市広報官として、これまでの経験を活かし、市の情報発信を国内外に対して行う。

1. 首長の方針



兵庫県知事 井戸 敏三

起業家支援に関して

本格的な人口減少社会が到来する一方で、経済のグローバル化や情報通信技術の発達は、人・物・情報の交流を飛躍的に広げている。事業所数の減少や若者の転出超過が続く兵庫県では、事業の創造を通じて雇用と地域経済に活力を生み出す起業の拡大を産業政策の重点施策と位置づけ、多様で切れ目のない支援策を展開している。

UNOPSの誘致に際して

「兵庫県はこれまでも様々な起業家支援、スタートアップ支援を展開しており、国連の後押しを得て、さらに質の高い事業を展開していきたい。兵庫・神戸に集まる人材が、地域や世界を引っ張ることを期待している。また、起業家が発展する拠点として期待したい。」

(2019年11月28日 UNOPSとのMOU締結式)

スタートアップ支援施策をはじめるとあって

「起業をした結果、神戸で事業活動をするを求めてはおりません。世界を股にかけて、雄飛をしていただきたい、そういう、神戸がいわば事業をスタートさせる、若い世代が起業をする拠点として認知をされていくということを目的としています」

(2016年2月26日 神戸市会 本会議)

神戸市外の起業家を支援することに批判的な意見について

「神戸のために頑張ってくださいと人材や技術を地域に閉じ込めるのは、神戸ほどの規模の都市の産業振興のあり方としては、了見が狭すぎると思うんです。神戸は常に外に目を向け、世界を舞台にした人材育成の拠点でありたいのです。こうした支援を続けていけば、いずれ内外から『神戸はスタートアップをするまちなんだ』と認識してもらい、起業を目指す若者が集まるようになるでしょう」(2018年5月22日 NewsPicksインタビュー)



写真 山本仁志

神戸市長 久元 喜造

2. スタートアップ支援

(1) 総予算額 22億6千8百万円

(2) 主な支援事業

(単位：千円)

	ステータス	実施主体	施策	R02予算額	R01予算額
アクセラレーションプログラム	継続	神戸市	500 Startupsと連携した起業家育成プログラム	106,000	106,000
	拡充	神戸市	Urban Innovation Kobe	39,600	29,600
	継続	神戸市	神戸医療産業都市（メドテックグランプリKOBE等）	10,000	10,000
	継続	兵庫県	クリエイティブ起業創出事業	13,749	13,917
	継続	兵庫県	ひょうご・神戸チャレンジマーケット	2,824	3,194
アクセラレーションプログラム 小計				172,173	162,711
スタートアップ拠点の整備	新規	県・市	UNOPSグローバル・イノベーション・センターの誘致	154,842	—
	新規	神戸市	知的交流拠点の整備事業	102,500	—
	新規	神戸市	神戸医療産業都市（クリエイティブラボ神戸内シェアラボ整備・運営補助）	74,990	—
	拡充	兵庫県	起業プラザひょうごの運営	70,689	32,711
拠点整備 小計				403,021	32,711
スタートアップの誘致	拡充	県・市	スタートアップ集積のための補助制度	131,711	105,133
	拡充	兵庫県	ふるさと起業・移転促進事業（U/Iターン起業家向け助成）	70,658	68,711
	拡充	神戸市	シアトル・シリコンバレーオフィスの運営	48,957	21,961
	拡充	神戸市	東京における情報発信・誘致強化	20,352	3,000
	新規	神戸市	海外スタートアップの神戸への移住支援	3,000	—
	新規	神戸市	日本企業向けハッカソンツアーinインドとの連携	3,000	—
	新規	兵庫県	スタートアップビザ制度の活用による外国人起業家支援事業	1,427	—
スタートアップの誘致 小計				279,105	198,805
成長資金供給	継続	兵庫県	新事業創出支援貸付・チャレンジ支援貸付	954,643	953,797
	継続	兵庫県	女性・若手・ミドル・シニア起業家支援事業	167,747	169,288
	新規	県・市	スタートアップ向け県市協調ファンド組成	200,000	—
	新規	神戸市	神戸医療産業都市（GapFund事業等）	25,500	—
	継続	神戸市	ふるさと納税を活用した起業家育成のための資金調達支援	10,000	10,000
成長資金供給 小計				1,357,890	1,133,085
起業家教育	新規	兵庫県	神戸大学と連携した起業人材育成事業	15,000	—
	拡充	神戸市	創造的人材育成プログラム（SVツアー、ルワンダツアー、Founders）	11,250	6,000
	新規	神戸市	神戸医療産業都市（経営人材育成事業）	1,000	—
起業家教育 小計				27,250	6,000
その他（調査費用、外部人材人件費等）				28,800	26,265
総予算額				2,268,239	1,559,577

3. スタートアップ支援組織

- (1) 担当部局名：神戸市医療・新産業本部新産業部新産業課：13名
神戸市医療・新産業本部医療産業都市部調査課：3名
兵庫県産業労働部産業振興局：10名

(2) 支援の顔となる職員

神戸市で専門知識をもつ民間人材6名を職員として採用し、スタートアップ施策を推進



イノベーション専門官 中沢 久

▶NTTコミュニケーションズで約13年間、海外での日系企業向け市場開拓や海外企業買収を担当。神戸市ではUrban Innovation Kobe等のスタートアップ支援を主に担当（平成30年7月採用）



イノベーション専門官 西川 嘉紀

▶京セラ、マツダで約8年間、海外市場での新規顧客開拓、マーケティング・販売戦略の策定に従事。神戸市では500 Startupsと連携した起業家育成プログラムを主に担当（令和2年4月採用）



イノベーション専門官 笠置 淳信

▶NTTドコモで約12年間、M&Aやグローバル戦略の立案などを担当。その後、経済同友会に転職し、米国の情勢分析や調査業務を担当。神戸市ではシリコンバレーオフィスに派遣、海外スタートアップの誘致を担当予定（令和元年8月採用）



チーフ・エバンジェリスト 栗山 麗子

▶日本製粉にて商品開発を担当。テレビ通販の放送内容の企画・出演を自ら行い、2つのヒット商品を生み出し、1つは1日に3億円以上売れる商品に。神戸市では、WeWork丸の内北口オフィスにて、首都圏に対するプロモーションを担当（令和元年10月採用）



イノベーション専門官 松山 律子

▶ワールドなど服飾関係の企業で米ブランドの販売促進やブランドの立ち上げを7年間担当。個人事業主としてマーケティング業務にも携わった。神戸市ではイノベーション創出のための環境整備やプロモーションを担当（令和元年8月採用）



チーフ・エバンジェリスト 乾 洋

▶オリックスにて、同社のアジア最大の現地法人のCEOなどを含む、14年間の海外駐在を経験。ベンチャーキャピタル投資、投資先への経営アドバイス、海外市場の開拓等の豊富な経験を持つ。神戸市では、WeWork丸の内北口オフィスにて、企業誘致を担当（令和元年10月採用）

4 . 民間組織との連携(1/2)

三井住友銀行との連携

- ▶ 2014年に兵庫県と「産業振興にかかる連携協力に関する協定」を締結
- ▶ 2016年から3年間、プラチナスポンサーとして「500 KOBE ACCELERATOR」を支援
- ▶ 官民連携コワーキングスペース「起業プラザひょうご」を神戸本部ビル内に整備(2020年9月運営開始予定)。金融機関のノウハウやネットワークを活かし、事業計画のブラッシュアップや資金面での支援、顧客企業等とのマッチングなどを実施。
- ▶ スタートアップと大企業とのマッチングを促進するため、オープンイノベーションミートアップを神戸で開催。
- ▶ 2018年から若手行員をスタートアップに出向させる取組を試行的に開始。スタートアップへの人的支援に加え、現場経験を通じたスタートアップのニーズ把握、事業成長サポートのスキル習得を目的に実施。今後、取組を拡大していく予定。



スタートアップ向け県市協調による官民連携ファンドの創設 新規

- ▶ 兵庫県・神戸市共同で、スタートアップの飛躍的な成長や、ベンチャー企業のIPOなど、地域活性化につながる投資を行う官民連携投資ファンドをR2年度に組成予定。
- ▶ 県市で1億円ずつを出資。民間企業等を加え、総額10億円超の規模を目指す。
- ▶ UNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）のGIC（グローバル・イノベーション拠点）が取り組むスタートアップ育成プログラムや神戸市の500 Startups Kobe Accelerator、さらには3府県3政令市が共同での採択を目指すグローバル拠点都市のスタートアップ育成プログラム等と連携し、兵庫・神戸のみならず、広く世界からこの地域に集まり、成長するスタートアップを投資対象とする。

	ファンド概要(案)
総額	10億円超
期間	10年(延長あり)
対象	県内に本社または拠点を有する、または今後整備する予定のあるアーリー期またはシード期の企業
組成次期	令和2年度

4. 民間組織との連携(2/2)

神戸市・神戸医療産業都市推進機構・バイエル薬品の3者で連携協定を締結
神戸医療産業都市におけるライフサイエンス分野を対象としたベンチャー企業の育成・支援や、
ベンチャーエコシステム構築に向けた協力体制を構築する。



< 連携内容 >

- ・ベンチャー企業・起業家の誘致・発掘
- ・人材育成、事業化サポート
- ・グローバル展開の推進
- ・広報・プロモーション活動
- ・定期的な情報交換、その他ベンチャー企業の育成・支援等に関すること



「The Rise of Life Science Ecosystem in Japan KOBE - Bayer Partnership」(2019年6月)

- ・バイエル薬品株式会社と初の連携イベントとして米国・ボストンで開催
- ・神戸医療産業都市におけるライフサイエンス・エコシステム構築に向けた取組み紹介、神戸関連スタートアップのショートプレゼンテーションによるマッチングイベント
- ・現地企業関係者や研究者、ベンチャーキャピタル等 約80名が参加



バイエル薬品、シスメックスと神戸医療産業都市の連携

- Pitch Your Dreams in KOBE 2019 - (2019年7月)

- ・バイエル薬品株式会社、シスメックス株式会社、神戸市、神戸医療産業都市推進機構 共催によるピッチイベント
- ・ベンチャー13社、ベンチャーキャピタル16社を含む 145名が参加



5. グローバル化への対応 (スタートアップVISA制度など)



UNOPSグローバルイノベーションセンター「GIC」整備 **新規**

- ▶ 国連や世界銀行、各国の依頼に基づきプロジェクト推進を担う国連機関「UNOPS」が推進する、SDGs上の課題解決を目指す、スタートアップの活動拠点「GIC」を誘致し、県市で整備。
- ▶ 15社程度の入居者へアクセラレーションプログラムを実施予定。
5社程度の国連調達への参加を目標とする。(2020年度秋ごろ開設予定)



外国人起業家の受入れ体制の充実

- ▶ **スタートアップVISA** **拡充**
2019年3月に神戸市認定。2020年3月に500 KOBE卒業生を第1号として採択。
2020年度に兵庫県も同事業を開始し、起業プラザひょうごに窓口を設置予定
- ▶ **外国人起業家の移住支援** **新規**
100万円/件の支援を2020年から開始。移住の経済的負担を取り除き、海外起業家を呼び込む
- ▶ **海外高度IT人材の獲得** **新規**
インドでハッカソンを行い、神戸市内のIT企業のインド高度IT技術者の雇用を促進



グローバル展開

- ▶ **シリコンバレーオフィス** **拡充**
2019年5月開設。2020年に駐在員を1名追加し、米国スタートアップの誘致、日本のスタートアップの米国進出を支援
- ▶ **世界の都市とのネットワーク拡充**
米国ポートランドとスタートアップでの創業支援に関する協力を含む覚書締結(2020年10月)
ルワンダ共和国首都、キガリ市とのICT分野に関するパートナーシップ共同宣言(2016年5月)
ルワンダICT省と、アフリカ大陸と日本の橋渡しに向けたICTベースの協力強化のためのパートナーシップ覚書締結(2018年3月)
アジア圏の大都市との包括協定を締結予定
- ▶ **医療分野での海外クラスターとの連携**
BIOCOM MOU締結 / UCサンディエゴ MOU締結 / EEC LOI締結
- ▶ **海外展示会共同出展**
世界最大級の医療機器商談会「MEDICA」
ASEAN最大級の医療機器展示会「Medical Fair Thailand」、「Medical Fair Asia」

6. 他の自治体等との連携 (都道府県と市区町村の連携、連携都市など)

兵庫県・神戸市の連携

▶ **補助事業** 拡充

県市協調で **スタートアップの誘致** コワーキング等のイノベーション拠点の開設

スタートアップの集積をうながすようなカリスマ人材の誘致 の補助制度を2018年度に創設

2年間で15件のスタートアップ、19件のコワーキングスペース等のイノベーション拠点、2件のカリスマの誘致に成功
[うち神戸市内の誘致件数：スタートアップ 15件、イノベーション拠点 6件、ITカリスマ 1件]

京阪神の連携

- ▶ 京阪神3市で連絡会を開催し、アクセラレーションプログラムや展示会等のイベント情報を共有・情報発信する。
- ▶ これまでも神戸市のアクセラレーションプログラムを受講したスタートアップを大阪市のプログラムに推薦するなど、3都市間で連携していたが、世界に伍するエコシステム拠点の形成のためにさらに連携を強化し、スタートアップに成長の機会を提供する。

全国の自治体との連携 - Urban Innovation Japanの全国展開

- ▶ スタートアップと共同で行政課題を解決するプロジェクト「Urban Innovation Japan」を立上げ、同プラットフォーム上に全国の自治体が参加（後述）

7. 国の施策との連携 (特区、地方創生交付金事業など)

(1) 地方創生推進交付金 (令和元年度～3年度)

【事業名：健康・医療分野におけるベンチャーエコシステム構築事業】(総事業費：134百万円)(令和2年度計画申請中)
ライフサイエンスベンチャーエコシステム構築事業として令和元年度より採択。令和2年度は、コンセプト検証助成(KBICギャップファンド)、シェア型のウェットラボ・オフィスの整備・運営(CLIK2階)、イベント開催費で計画申請中

【事業名：起業家支援事業】(事業費：285百万円)

起業家の裾野拡大により新たな市場を切り拓くとともに、地域活性化を図るため、県内で起業を目指す方へ起業に必要な経費を補助

【事業名：起業プラザひょうごの運営(神戸、姫路、尼崎)】(事業費：71百万円)(令和2年度計画申請中)

「起業プラザひょうご」を同行神戸本部ビルに移転し開設、あわせてスモールオフィス等の起業の場や交流機能を拡充

【事業名：UNOPS・GICの運営】(事業費：77百万円)(令和2年度計画申請中)

UNOPS(国連プロジェクト・サービス機関)のGIC(グローバル・イノベーション・センター)を誘致し、起業家等の集積を図るとともに、GICを拠点に活動するスタートアップ等との連携・交流により、起業プラザ会員の成長を促進

【事業名：スタートアップビザ制度の活用による外国人起業家支援事業】(事業費：1百万円)(令和2年度計画申請中)

スタートアップビザ制度を活用し、県内で起業を目指す外国人を対象に最長1年間の在留を認めるとともに、相談窓口の設置や経営指導の実施等、起業活動を総合的に支援

(2) 中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)(令和元年度)

【事業名：ライフサイエンス分野における「知的財産」を活かせる経営人材育成事業】(事業費：10百万円)

知的財産を戦略的に経営に活かせる経営人材を育成しライフサイエンス分野のシーズとマッチングする事業に活用

(3) 地方大学・地域産業創生交付金(令和元年度～令和5年度)

【事業名：神戸未来医療構想】(総事業費：1,447百万円)

神戸大学・産業界(シスメックス、メディカロイド等)との連携により次世代手術支援ロボットをはじめとする医療機器の研究開発・人材育成・基盤整備を一体的に推進し、医療産業の振興、人材の集積・定着を図ることで地方創生を図る

【事業名：神戸大学と連携した起業家育成講座】(事業費：15百万円)(令和2年度採択)

「神戸未来医療構想」のうち、起業人材育成部分について県と神戸大学が協力し、学生以外にも起業に興味を持つ人に幅広く呼びかけ、マーケティングやファイナンス等実践的な講座を実施する。

(4) 地域活性化雇用創造プロジェクト事業費補助金(平成30年度～令和2年度)

【事業名：起業プラザひょうごへの専門人材の配置】(事業費：4百万円)

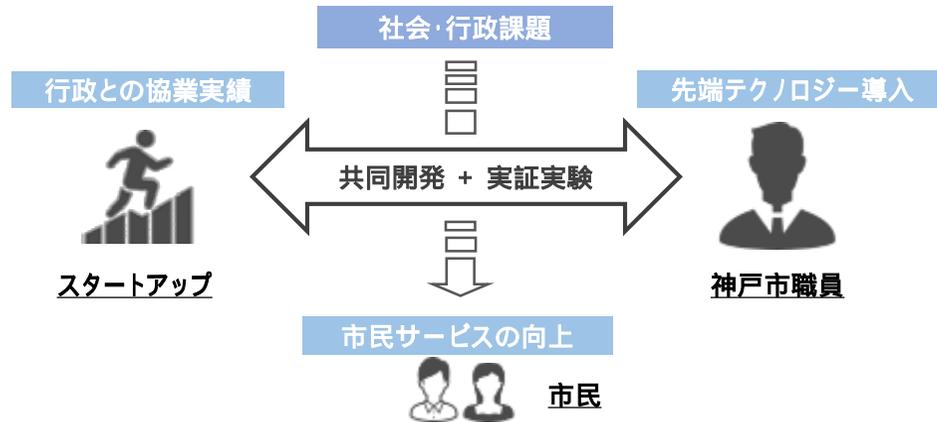
8. スタートアップ調達 (トライアル発注制度など)

Urban Innovation Kobe (UIK)

・PoC支援、実証環境の提供

柔軟な発想や優れた技術力を持つ「スタートアップ」と社会・行政課題を詳しく知る「市職員」の協働

- ▶ スタートアップと職員による4か月の共同開発
- ▶ 市役所のリソース（施設・サービス・広報ツール等）を使った実証実験を実施



・スタートアップからの調達促進

- ▶ 共同開発した製品・サービスを随意契約で調達できる制度を創設（2019年11月22日）
地方自治法施行令第167号の2第4号「新商品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者として普通地方公共団体の長の認定を受けた者」の規定を活用
- ▶ 兵庫県下の市町村にUIKで成功した製品・サービスを横展開、販路拡大を支援（UIJ for Expansion）

・全国展開

- ▶ 芦屋市、姫路市が本取組に参加、神戸の枠を超え「Urban Innovation Japan」として全国展開中
2020年度からは政令指定都市含む数都市が追加で参加予定

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

500 Startups

- ・2010年にシリコンバレーで創設された世界的なアクセラレータ
- ・2016年4月に神戸市とパートナーシップ協定を締結し、4年間「500 KOBE ACCELERATOR」を実施

【500 KOBE ACCELERATORプログラムの特徴】

シリコンバレーVCと自治体による先進的な起業家育成
 半数以上が海外から参加する国際的なイベント
 4年間で71社が参加。約100億円の資金調達に成功
 2019年はヘルステックにフォーカスし、神戸医療産業都市との連携が2件成立



Leave a Nest 株式会社リバネス

- ・博士、修士約70名の研究者集団
- ・技術系ベンチャーの支援・ノウハウを豊富に保有
- ・2018年度よりライフサイエンスに特化したアクセラレーションプログラム「メドテックグランプリKOBE」を実施

【メドテックグランプリKOBE の特徴】

ライフサイエンス分野の創業前後のチームに特化
 全国より優れた技術シーズを発掘（2019年度は61件のエントリー）
 ライフサイエンス分野に専門性を持つ神戸医療産業都市推進機構のコーディネーターが伴走支援

パートナー



・日本政策投資銀行

神戸を中心とした関西地域に拠点を構える企業と斬新なアイデアやノウハウを有する全国のスタートアップ企業とのオープンイノベーションによる新規事業創出を目的としたKOBE OPEN ACCELERATORを実施。



・日本ベンチャーキャピタル株式会社 <ひょうご新産業創造ファンドの運営>

- ・2011年に組成した「ひょうご新産業創造ファンド」のGPを務め、同社のファンドマネージャーを中心に、投資先の発掘やIPO成立に向けた投資先へのハンズオン支援を実施。



2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

バイエル薬品株式会社 - CoLaborator Kobe

- ▶ グローバル製薬企業バイエルがアジアで初めて開設したインキュベーション施設CoLaborator Kobeを運営
- ▶ 製薬企業のノウハウを積極的にベンチャー企業に提供し、創薬シーズ探索及び創薬プラットフォーム創生におけるベンチャービジネスの育成・支援を図り、ベンチャーエコシステムの構築に貢献する
- ▶ 案件によっては、スタートアップへの直接投資や社外アドバイザーの派遣を実施

🏢 オフィススペース



🧪 ラボスペース



入居企業



Epigeneron

ゲノム機能の異常に起因する難治疾患

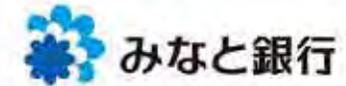


HACARUS ハカルス

AIを用いたデータ解析サービス

みなと銀行

- ▶ 2016年に兵庫県と「産業振興にかかる連携協力に関する協定」を締結
- ▶ 2017年にグループのみなとキャピタル株式会社とともに組成した、地元企業の新たな事業展開や次世代分野のベンチャー企業に投資する「みなと成長企業みらいファンド」をはじめ、観光活性化や農林漁業の6次産業化事業などを支援するファンドにより、県内のベンチャー、スタートアップの育成につながる投資を実施。
- ▶ みなと銀行の行員が、投資先のスタートアップに出向する人的支援を実施した事例もある。



神戸経済同友会

- ▶ 2019年に「兵庫・神戸らしいスタートアップ・エコシステムの強化」に関する提言を取りまとめ。
- ▶ 成長過程のスタートアップの課題として、経理・人事・労務など管理部門の人材確保を挙げ、スタートアップと自治体・地域企業間で人材を行き来させ育成する、兵庫・神戸の経済界と自治体が協力した「レンタル移籍」モデルの構築を提言。

HYOGO+

～ 学びと交流を通じ、語ろう、創ろう、兵庫の新たな活力を ～

3. エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組



関 治之

一般社団法人コード・フォー・ジャパン
代表理事

東日本震災時の情報ボランティア活動をきっかけに、住民コミュニティとテクノロジーの力で地域課題を解決することの可能性を感じ、2013年に一般社団法人コード・フォー・ジャパン社を設立。以降、「テクノロジーで、地域をより住みやすく」をテーマに、枠を超えて様々なコミュニティ

でも積極的に活動。社会課題からエンターテインメントまで、幅広く様々なハッカソンを実施している。

2016年から神戸市チーフイノベーションオフィサー（CINO）として、Urban Innovation Kobeなどスタートアップ支援事業に関する助言を行う。



奥田 浩美

株式会社ウィズグループ
代表取締役

インド国立ボンベイ大学 大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に「株式会社たからのやま」を創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する

事業を開始。委員：情報処理推進機構(IPA)「IT人材白書」検討委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員、経済産業省「Jスタートアップ推薦委員等」、著書：ワクワクすることだけ、やればいい! (PHP出版) ほか。

神戸では2016年の500 KOBE立ち上げ時からプログラムの運営を統括。Govtech Summitの運営も行う。2020年にはインド高度IT技術者獲得のためのハッカソンツアー in インドを主催予定。



Zafer Younis

Silicon Valley Venture & Innovation CEO

500 Startupsで500 Kobe Acceleratorを立ち上げ、プロジェクトを統括した。2017年には、オーストラリアやラテンアメリカへ事業を拡大し、起業家育成プログラムを軸として各地域におけるエコシステムを発展・強化するための活動に従事。12月末で500 Startupsの業務から離れ、SILICON VALLEY VENTURE AND INNOVATION社を神戸に設立。神戸におけるエコシステム構築戦略の助言や、米国IT企業・スタートアップの神戸誘致を行う。



高橋 俊一

バイエル薬品株式会社オープンイノベーションセンター長

現所属のOpen Innovation Center Japan (OICJ) は、バイエルが世界6か所に設置したOI拠点のひとつ。OICJの立ち上げから関わり、数多くのバイエル社の戦略的共同研究や包括的アライアンスを日本で構築。2018年にはベンチャーインキュベーション施設であるCoLaborator Kobeを設置し、ベンチャー企業との協働やサポートを積極的に推進している。社外でのベンチャー支援活動(MEDISO, LINK-Jなど)にも数多く参画中。



中西 雅幸

NPO法人コミュニティリンク代表

起業プラザひょうごの運営管理者として、起業相談や資金調達、販路開拓など起業家へのハンズオン支援により成長をサポート。起業家コミュニティ形成にも力を入れ、起業プラザでは県内外のスタートアップコミュニティと連携したイベントも開催するなど起業支援に加え多様なセクターを繋ぐハブ機能を持ったインキュベーション施設として成長。その他にもIT企業誘致や地場産業のイノベーション、事業継承など県内の地域活性化に取り組んでいる。

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

神戸大学

- ▶ 最先端科学技術の研究開発能力とともに、研究成果の事業化プロセスを自らデザインし、アントレプレナーシップを兼ね備えた理系人材の養成・輩出するため、「**科学技術イノベーション研究科**」を創設。
- ▶ 教職員の出資による基金と、大学発ベンチャーを支援する「**(株)科学技術アントレプレナーシップ**」を設立。**ゲノム編集技術の「バイオパレット」や、DNA合成の「シンプロジェン」など5社のベンチャーを設立**し、米国も含めたファンドから資金獲得。
- ▶ 基盤研究から社会実装までを一気通貫でマネジメントする「**産官学連携本部**」が着実に機能強化。
- ▶ 2020年には大学が100%出資する産学連携会社（承認TLO）である「**(株)神戸大学イノベーション**」を設立し技術移転のプロフェッショナル人材をスカウトし、マーケティングモデルに基づく産学連携を強力に展開。

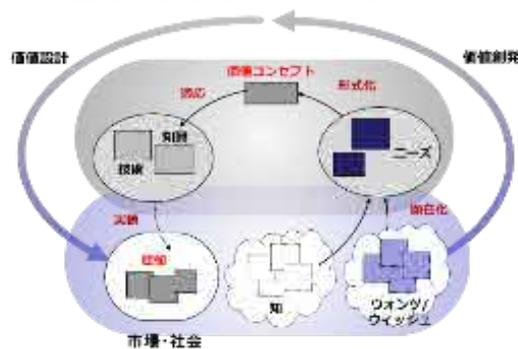


2. 地域の大学における起業家教育の取組

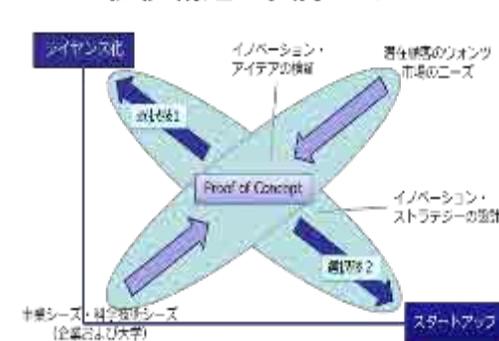
神戸大学

- ▶ 起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育を目的とした実践的講義や国際セミナーを開催している。
- ▶ 2020年4月には、企業や自治体と協働して、「ウォンツ」（潜在的な希望や期待）を捉えた起業家や価値を創造して革新的イノベーションを起こせる人材を育成するため、全学横断組織として「**神戸大学バリュースクール（通称 V.スクール）**」を設置する。
- ▶ Medical Valueを出発点とし、それをLife Valuesへ拡充し、さらにはSDGsの17の目標と169のターゲットを包含するSustainable Valuesへの展開を目指す。V.スクールは、神戸大学が120年近くにわたって培ってきた「**学理と実際の調和**」の伝統の下で、多元的・多層的な価値創造を通じて、地球的諸課題を解決するために先導的かつ公益的役割を担う。
- ▶ 神戸大学生以外にも社会人や起業プラザひょうご会員など起業に興味を持つ人を対象に、マーケティングやファイナンス等の実践的な公開講座を開催。

価値創造 = 価値創発 × 価値設計



価値創造の実際のイメージ



兵庫県立大学

- ▶ インキュベーションセンターによる大学発ベンチャーの育成・支援、データサイエンス関連のビジネスプランコンテストの開催、起業関連の講義などを実施

甲南大学

- ▶ 経営学部内に経営者等の人材育成を目的としたスペシャルプログラム『ビジネス・リーダー養成プログラム』を設置。企業連携、研究成果の事業化についてのセミナーを開催するなど、事業化に向けた取組を進める。

関西学院大学

- ▶ 超長期ビジョンと長期戦略からなる将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」において、「質の高い就労」を目標に掲げ、実施計画の一つとして「アントレプレナーの養成」に取り組んでおり、大学生・高校生・中学生を対象としたプログラムを実施。

神戸情報大学院大学

- ▶ 2013年にすべて英語で履修可能なICTイノベーターコースを開設。「探究実践」を中核に据えるとともに、民間企業や国際協力などの最前線で活躍した人材を講師に揃え、世界の課題解決の第一線で活躍できるグローバル人材を輩出している。

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

神戸大学×神戸医療産業都市

- ▶ ポートアイランド地区を「**神戸イノベーションアイランド**」と位置づけ、統合研究拠点や国際がん医療・研究センター、神戸バイオテクノロジー・人材育成センターなど、最先端研究施設を設置。
- ▶ 神戸市との緊密な連携をベースに、ポートアイランドに集積する全国有数のバイオ系クラスターとの研究開発、人材育成ネットワークを構築し、自治体や企業と様々な共同プロジェクトを展開。
- ▶ 創薬・バイオ産業分野への応用に取り組み、神戸を拠点とするバイオベンチャー等と連携して、日本の国際競争力向上に資するグローバルビジネスの展開を目指す「**地域イノベーション・エコシステム形成プログラム**」、医工連携による国産初の手術用ロボットをはじめとした革新的医療機器の開発と人材育成を行う「**地方創生・地域産業創生事業**」、組織対組織の大型共同研究をマネジメントして資金・知・人材の好循環を構築する「**オープンイノベーション機構整備事業**」に採択され、神戸市や企業との共同実施体制を構築。



大学生×神戸市×SRC株式会社

大学生向けの神戸ゆかりの起業家による講演とビジネスの理論を学ぶ講座、Founders! (ファウンダーズ) を神戸市と共同で実施。神戸出身の起業家と起業を考える学生が繋がる貴重な機会を提供。



都市の環境・繋がり状況

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

海・山・街が隣接した、コンパクトシティだからこそ、働きやすくて暮らしやすい！

海と山の自然に恵まれた住環境の街であると同時に、整備された交通網や関西地域を取り込む大規模市場を擁し、ビジネスにとっても充実した地域である。中心部の三宮から直径わずか5km圏内に大企業のオフィスが立ち並ぶオフィスエリアと美しい海と雄大な山々といった自然がコンパクトにまとまっている。

新たな産業
の創出



5km圏内に大企業が集積



日本を代表する製造関連の大企業が市内に立地（川崎重工業や三菱重工業、神戸製鋼所など）し、神戸の経済を支える。

グローバル企業の拠点



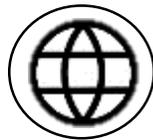
ネスレやP&G、イーライリリーなどの世界を代表する外国・外資系企業の日本本社をはじめ、世界各国の企業の事業所が集積

医療関連企業368社集積



ポートアイランドに先端医療技術の研究開発拠点を整備し、日本最大級の医療クラスター「神戸医療産業都市」を形成している。

多様性を受け入れる環境



港町の歴史から欧米系、インド系、中国系など様々なコミュニティが存在。市内に8つの外国人学校があり、グローバルな教育機関も充実

ファッション産業の集積



開港以来、様々な洋風文化に刺激を受け、神戸ならではのアパレル、洋菓子など生活文化に関わる地場産業が集積。

今後さらに国際競争・都市間競争において、選ばれるための魅力・活力の創造



三宮中心部の再整備



文化・交流機能の集積と更新

2. スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設・民間施設）

UNOPS グローバル・イノベーション・センター「GIC」

- ▶ 国連や世界銀行、各国の依頼に基づきプロジェクト推進を担う国連機関「UNOPS」がSDGs上の課題解決を目指すスタートアップの活動拠点



起業プラザひょうご

- ▶ 2017年開設。2020年に移転し、SMB Cとの官民連携コワーキング施設として、スタートアップ支援機能を拡充しオープン予定。2020年に姫路と尼崎にエリア拠点を設置予定
- ▶ 兵庫県内コワーキング施設のハブ機能を担い、県内外の施設と連携



クリエイティブラボ神戸 (CLIK)

- ▶ 令和2年10月に新たなラボビル「クリエイティブラボ神戸 (CLIK)」を開設。ベンチャーが活躍する拠点となるシェアラボを開設予定。共用の研究機器を設置、経費を補助するなど研究・創造環境を整えベンチャー企業を集積



神戸市役所

- ▶ 500 Startupsとの連携やUrban Innovation KobeやUNOPSの誘致など、率先して先進的なスタートアップ関連施策を実施し、兵庫・神戸のエコシステム形成を推進していく拠点



3. スタートアップや支援者の交流する場 (シェアオフィス、カフェなど)

知的交流拠点

- ▶イノベーションの創出や新たな連携を促進するため、神戸医療産業都市への進出企業や研究機関・大学、企業等が交流し、新たな連携促進やイノベーションの創出の場となる、知的交流拠点を神戸阪急ビル東館15階に整備 (2021年春開業予定)



WeWork 三宮プラザEAST

- ▶2019年11月開設。3フロア700席を擁し、神戸市内では最大規模。
- ▶東京及び海外などからの企業進出を促進するため、「神戸市×WeWork Japanビジネス支援プログラム」を創設。兵庫県・神戸市の賃料補助と連動した特別割引を提供



.me (ドットミー)

- ▶元Chatwork CEOの山本敏行氏が中心となり、起業家育成とコミュニティ形成を通じて社会を変えるプロジェクトの創出を目指す「谷上プロジェクト」の拠点となるコワーキングスペース



そのほかにも市内に民間のコワーキングスペースが急増中



4. スタートアップ関連イベントの開催状況

2019年以降に実施したイベントのうち、大規模イベントのみを抜粋して記載

イベント名	場所	主催者	参加人数
Infinity Ventures Summit 2019 Summer Kobe	神戸ポートピアホテル（神戸市中央区）	インフィニティ・ベンチャーズ	500人
Developers Summit 2019 KANSAI	神戸国際会議場（神戸市中央区）	株式会社翔泳社	600人
GovTech Summit	三井住友銀行本店東館（東京都千代田区）	神戸市	328人
500 Startups Kobe Accelerator with a focus on HEALTH デモデイ	ハーバースタジオ（神戸市中央区）	神戸市	150人
第2回メドテックグランプリKOBE（最終選考会）	神戸臨床研究情報センタ（TRI）（神戸市中央区）	神戸市	133人
ヘルスケアビジョンIN KOBE	三井住友銀行神戸本部ビル（神戸市中央区）	理化学研究所	216人
Connect! In Kobe	ジョルオーネ（神戸市中央区）	関西ニュービジネス協議会	130人

Point 1



米国VCによるプログラム

シリコンバレーを拠点に世界74カ国2200社以上に出資する、世界で最もアクティブなシード投資ファンド **500 Startup** が、国内外から選抜された優秀な起業家を対象に、**神戸**で実施する短期成長促進プログラムです。6週間の間、参加したスタートアップは神戸に滞在する本格プログラムです。

Point 2



海外メンター陣20名来日

スタートアップでEXIT経験者の専門家・メンター陣をシリコンバレーをはじめ全世界から日本に派遣し(のべ20名以上)、**シリコンバレー・サンフランシスコで実施されるプログラムと同内容のレクチャー・メンタリング**を実施します。

Point 3



アジア唯一のプログラム

500 Startupsによる海外での本格的プログラムは、**世界で初めて**となります。その後、ヨーロッパ、中南米へと展開されていますが、アジアでは唯一のプログラムです。2018年は、237名の応募のうち**134社**が東南アジアを中心とした海外からの応募者となるなど、国外からも注目度が高いプログラムです。

500 Startupsの概要



- U 2010年にシリコンバレー・マウンテンビューで創設された創業初期の起業家を対象とする投資家兼育成支援団体。
- U 世界でもっとも活動的な創業初期段階のファンドといわれており、ソフトバンクが250MUSDを出資したGrabTaxiや、KDDIが提携するTwilio、Credit Karmaなど約10社のユニコーンを輩出。
- U 米国に留まらず、南米、東南アジア、韓国、トルコ、ノルウェーなどグローバルに投資活動を行っている。
- U 日本では、500 Startups JAPANとして、2017年6月に総額35百万USD(約38億円)の投資ファンドの設立(同ファンドは2019年3月に独立し、Coral Capitalを設立)。



これまで投資した企業



これまで投資した国



排出した起業家

500 KOBE 2019プログラム概要

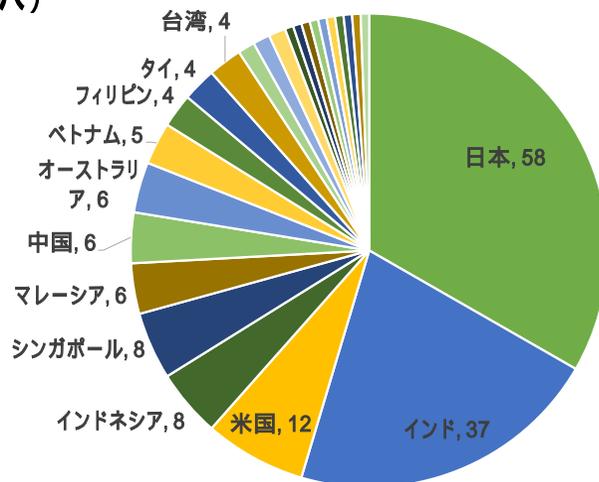
- p 期間: 2019年11月4日(月曜)から12月16日(月曜)まで

 - 前半2週間 :11月4日(月曜)から 11月15日(金曜)
 - 後半2週間 :12月2日(月曜)から 12月13日(金曜)
 - デモデイ(神戸) :12月16日(月曜)
- p 場所: デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO(神戸市中央区)
- p 対象: シード・アーリーステージの国内外の起業家または起業家候補
- p 応募: 募集開始 2019年7月29日(月曜)

 - 一次締切 8月31日(水曜)
 - 最終締切 9月15日(日曜)
- p 選考: 500 Startups 及び神戸市が選定する
- p 参加企業: 18チーム(国内7社、海外11社、うちヘルステック関連企業11社)



(参考 応募企業国別内訳)



国名	応募数
日本	58
インド	37
米国	12
インドネシア	8
シンガポール	8
マレーシア	6
中国	6
オーストラリア	6
ベトナム	5
フィリピン、タイ、台湾	4
カンボジア、ロシア、エジプト	2
バングラデシュ、カナダ、韓国、ニュージーランド、エストニア、イタリア、オランダ、イギリス、南アフリカ、アルゼンチン	各1
合計	174

500 KOBE 2019 デモデイ (最終発表会)



| 成果発表会 - デモデイ

- ・日時: 2019年12月16日(月) 4:00pm - 7:30pm
- ・会場: 神戸ハーバースタジオ
- ・参加者: 約150名(国内外VC・投資家・企業戦略担当者・報道関係者)

Urban Innovation Kobe 取り組み例

行政窓口をスムーズに案内できるツール

2018年上期

課題

紙のマニュアルによる窓口対応の効率化、ノウハウの継承

提案

案内初心者でも活用できるタブレットを開発

ACALL

×



ACALL(株)

東灘区

実績

- 来庁者一人当たりの平均案内時間 48.9%削減
- 案内できなかった割合が、26.7% 8.6%へ
- 平成31年より神戸市全ての区役所へ導入

給与関係の届出処理の自動化

2018年下期

課題

教員の通勤手当の支給の際、経路の認定作業に約5,500時間を要する

提案

最適経路の検索を自動化し、認定作業を効率化。稼働を削減

MONSTARLAB

×



(株)モンスター・ラボ

教職員課

実績

- 約1,900時間の業務削減を達成
- 今後は精度を向上し、2,400時間の削減を目指す

GovTech Summit の開催



Obara Kazuhiro
尾原 和啓

IT批評家、藤原投資顧問 書生



Seki Haruyuki
関 治之

神戸市テック・イノベーション・オフィサー
Code for Japan



・日 時 2019年2月10日(日)13:00-18:00

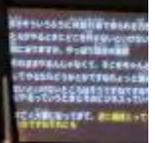
・場 所 三井住友銀行東館SMBCホール

・参加者 350名

・プログラム 基調講演:尾原 和啓さん

経済産業省の若手官僚らによるセッション

自治体xスタートアップ 事例紹介

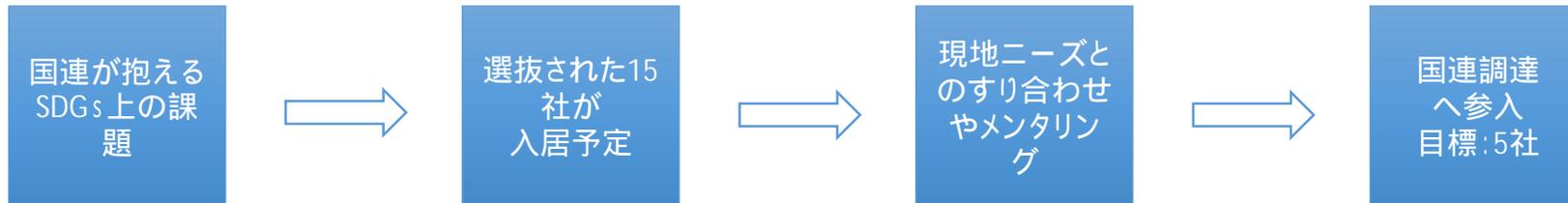


UN Global Innovation Center(GIC)

- 技術先進国の日本において、民間企業の知的財産をライブラリー化
- 世界のスタートアップなどの知財ライブラリーの活用促進(国内企業は知財収入増加)
- スタートアップを育成して、SDGs課題の解決型サービスを国連調達につなげる
- 世界各地のGICをネットワーク化し、世界的な協働の場を提供



< スタートアップ育成と国連調達参入の枠組み >



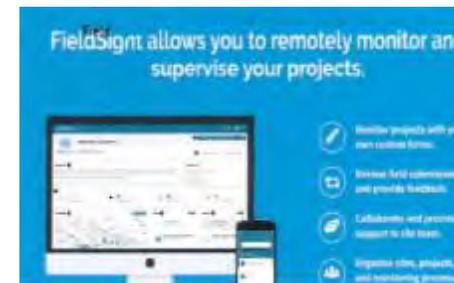
UNOPS Global Innovation Center – 事業一例

アンティグア・バーブーダ イノベーションラボの設立



- 起業家支援のための技術研修を実施
- 開始3か月で「台風被災時の避難地検索アプリ」が地元青年により開発、広く認知

ネパール モバイルアプリで地震復興



- 被害アセスメントに情報収集アプリ使用
- 建設経過確認をアプリを使って実施

神戸市の起業家教育事業（SV派遣・ルワンダ派遣・Startup Base）



- ・参加者数：20名（高校生1名、大学生17名、社会人2名）
- ・派遣期間：2019年3月3日（日）～3月9日（土）1週間
- ・派遣先：アメリカ合衆国・シリコンバレー地域



- ・参加者数：18名（高校生1名、大学生15名、社会人2名）
- ・派遣期間：2019年2月16日（土）～3月2日（土）2週間
- ・派遣先：ルワンダ共和国・キガリ市

Startup Base For Young Entrepreneurs

in Kobe 2019 8/17-18

スタートアップ・ベース in 神戸

高校生・高専生向け
起業体験プログラム

- ・18歳以下の高校生・高専生を対象とした企業体験プログラム
- ・出会ったばかりの仲間とチームを組み、プロトタイプ作成～価値の証明までを2日間で実施
- ・2019年は市内外から19名が参加

<p>アフリカの社会・文化・ 経済への理解力 Understanding</p>	<p>課題解決力 Problem Solving</p>	<p>0から「1」を 生み出す力 Start-up Ability</p>
--------------------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------------------

<p>キミロンコママーケット</p>	<p>現地企業の課題解決WS</p>	<p>ビジネスプラン検証</p>
<p>コーヒー農園</p>	<p>現地企業へのヒアリング</p>	<p>現地起業家などヘビッチ</p>

メドテックグランプリKOBE

ベンチャー企業の発掘・育成のためのアクセラレーションプログラム

「第2回メドテックグランプリKOBE」(2019年7月-12月)

- アカデミア・ベンチャー企業を対象に、シーズ発掘、ベンチャー支援の実績を豊富に持つ株式会社リバネスと連携して開催。
- スポンサー19社
- 全国よりエントリー61チーム。内ファイナリスト12チームがデモデイにてピッチ。(デモデイ参加人数132名)
- 最優秀賞：涙でがんの検知を目指す Team TearExo (神戸大学竹内教授)
神戸医療産業都市賞：ゲノム編集技術 Nexuspiral株式会社



ライフサイエンス・スタートアップ向けシェアラボ

Creative
Lab for
Innovation
in Kobe
クリエイティブラボ神戸 CLIK

2020年10月開設予定



イノベーションパークでセミナーや
マッチングイベント等、交流を促す
イベントを実施予定



仕様

- ・全28ベンチ（1ベンチ：1,500mm × 750mm）
- ・登記可能なシェアオフィス（座席固定全20デスク）
- ・共用機器完備（実験ベンチ、リアルタイムPCR、プレートリーダー、化学発光・蛍光撮影装置等）



CLIK整備予定地

京コンピュータ前駅から約2分
神戸空港から約4分

KCM I

神戸大学
先端融合研究環
統合研究拠点
理化学研究所
R-CCS